

St. Luke's International University Repository

聖路加国際大学紀要投稿要項

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-04-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10285/13304

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



聖路加国際大学紀要投稿要項

1. 論文の種類

- ① 原著：独創的な研究により，新しい知見，理論を示した研究論文 (査読あり)
- ② 研究報告：原著論文には及ばないが，意義ある研究成果が得られており，看護と医療の発展に寄与するものと認められるもの (査読あり)
- ③ 総説：ある主題に関連した研究の総括，理論の構築 (査読あり)
- ④ 短報：実践報告，研修報告 (査読なし)

※短報以外の論文は，紀要委員会が適当な第三者にその査読・審査を依頼する。

2. 投稿資格者

- ① 本学の専任教員・特任教員・職員
- ② 本院の職員
- ③ 本学の臨床教員，名誉教授，非常勤講師，非常勤職員
- ④ 本学の大学院生
- ⑤ その他紀要委員会委員長が適切と認めた者

※共著者は①～④に限らない

3. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は，倫理審査の過程を経た旨を本文中に明記する。

4. 論文の言語

日本語あるいは英語

5. 論文は他の出版物に未発表，あるいは未投稿のものに限る。

6. 掲載論文の著作権は，聖路加国際大学に属する。またその電子化と公開についても了承したものとする。なお，紀要に掲載された論文をその論文の著者が引用以外の形で公開したい場合（電子媒体で全文を自身のサイトに公開するなど）には，聖路加国際大学紀要委員会著作権細則に則り，その旨紀要委員会に届け出たうえで公開すること。

論文執筆・投稿要領

1. 原稿の構成と表記

- 1) 原稿は本紀要の投稿フォーマットを用いて作成する。原稿の長さは原稿全体の刷り上がり頁を以下の範囲内とする。これを超えるものについては受領しない。
 - ① 原著・研究報告・総説 10頁以内
 - ② 短報 6頁以内
- 2) 表紙には，論題，著者名，所属（日本語と英語）を表記する。400字程度の和文要旨とキーワード3～5語，250 words程度の英文要旨とkeywords 3～5語を記す。
- 3) 英文原稿，英文要旨は，必ずネイティブチェックを受けること。
- 4) 図表の使用は必要最小限にとどめる。「図1」「表1」「写真1」等の通し番号とタイトルをつけ，本文とは別に文献の後に一括し，それぞれの挿入希望場所を指定する。いずれも白黒印刷で明確に判別できるものとする。写真の解像度は300～350dpi程度とする。
- 5) 図表および写真の情報量，サイズ等に十分留意すること。多くの情報を詰めすぎた，あるいは鮮明度に欠ける図表および写真を用いた原稿は，受領しない。なお，適否の判断は紀要委員会が行う。
- 6) 外国の人名，地名に原語を用いるほかは，叙述中の外国語にはできるだけ訳語をつける。
- 7) 注は脚注とし，必要最小限にとどめる。

2. 文献記載の様式

- 1) 引用文献は，本文の引用箇所の肩に¹⁾ ^{1, 3)} ^{5, 7-9)}の形で表し，最後一括して引用順に掲げる。本文中で同一文献を二度以上引用する場合は，既出の番号を用いる（同上，前掲などは使用しない）。
- 2) 引用文献の記載方法
各項目の区切り記号は半角を用いる。また，著者が3人以上の場合は最初から4人目以降の著者を「ほか」「et al.」

で略す。最終ページ数は開始ページ数と重複しない数字のみを記す。以下に代表的な情報源ごとの例を挙げる（「」は半角スペースを示す）。これ以外のケースは、米国立医学図書館（NLM）による「Citing Medicine, 2nd edition」（<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK7256/>）を参照する。

- ① 【雑誌】 著者. 「」論題. 「」誌名（英文誌名はPubMed 省略誌名）. 「」出版年；巻(号)：通巻開始ページ - 最終ページ.
福井次矢, 嶋田元, 脇田紀子ほか. 診療の質測定と改善：医療の質改善：一病院の経験. 日本内科学会雑誌. 2012；101(12)：3432-9.
Fukui T, Rahman M, Ohde S, et al. Reassessing the Ecology of Medical Care in Japan. J Community Health. 2017；42(5)：935-41.
- ② 【書籍全体】 編著者. 「」(訳者名). 「」書名：「」副書名. 「」版表示. 「」(シリーズ名；「」シリーズ番号). 「」出版地：「」出版社；「」出版年.
※版の初版（第一版）は記載しない。
※出版社の「株式会社」「社団法人」等，法人種類は省略する。
菱沼典子著. 看護形態機能学：生活行動からみるからだ. 第4版. 東京：日本看護協会出版会；2017.
Huff D. How to lie with statistics. 2nd ed. London: Penguin；1991.
開原成允, 井部俊子編. 在宅医療と人材養成・人材確保. (佐藤智編. 明日の在宅医療；第6巻). 東京：中央法規出版；2008.
パトリシア ベナー (井部俊子ほか訳). ベナー看護論：初心者から達人へ. 新訂版. 東京：医学書院；2005.
- ③ 【書籍の一部】 著者名. 「」表題. 「」In：「」編者名. 「」書名. 「」版表示. 「」(シリーズ名；シリーズ番号). 「」出版地：「」出版社；「」出版年. 「」p. 「」開始ページ - 最終ページ.
※ In：「」は，和書では省略する。
Rojko JL, Hardy WD Jr. Feline leukemia virus and other retroviruses. In: Sherding RG, editor. The cat: diseases and clinical management. New York：Churchill Livingstone；1989. p. 229-332.
Tomey AM (菱沼典子訳). 第32章 エヴリン・アダム：看護のための概念モデル. Tomey AM, Alligood MR 編著 (都留伸子監訳). 看護理論家とその業績. 第3版. 東京：医学書院；2004. p. 618-31.
- ④ 【電子媒体】 [cited YYYY-MM-DD] の部分は，日本語文献では [参照 YYYY-MM-DD] とする。
- ④-1. 【電子ジャーナル】 著者名. 「」論題. 「」雑誌名. 「」年；巻(号)：開始ページ - 終了ページ. 「」[Internet]「」URL「」 [cited「」YYYY-MM-DD]
Polgreen PM, Diekema DJ, Vandenberg J, et al. Risk factors for groin wound infection after femoral artery catheterization: a case-control study. Infect Control Hosp Epidemiol. 2006；27(1)：34-7. [Internet] <http://www.journals.uchicago.edu/ICHE/journal/issues/v27n1/2004069/2004069.web.pdf> [cited 2010-12-25]
- ④-2. 【電子ブック】 編著者「」(訳者名). 「」書名：「」副書名. 「」版表示. 「」(シリーズ名；「」シリーズ番号). 「」出版地：「」出版社；「」出版年. 「」[Internet]「」URL「」 [cited「」YYYY-MM-DD]
聖路加国際病院 QI 委員会編. 「医療の質」を測り改善する：Quality Indicator 2014：聖路加国際病院の先端的試み. 東京：インターメディカ；2014. [Internet] <https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/Id/3000017907jsessionid=4F08B22ACE73A8C6DA6D8EB8D60D0EDF?0> [cited 2016-12-25]
- ④-3. 【Web サイト】 サイト名「」[Internet]. 「」URL「」 [cited「」YYYY-MM-DD]
聖路加同窓会 [Internet]. <http://www.slcnouso.com/> [参照 2018-06-06]
- ④-4. 【Web ページ】 著者. 「」タイトル「」[Internet]. 「」URL「」 [cited「」YYYY-MM-DD]
文部科学省. 教員免許制度の概要 (平成26年2月19日版) [Internet]. http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoin/_icsFiles/afieldfile/2014/02/20/1339300_1.pdf [参照 2018-06-30]
薬学実務実習に関するガイドライン. 文部科学省 薬学実務実習に関する連絡会議；2015年2月 [Internet]. http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/058/gaiyou/1355408.htm [参照 2016-01-01]

3. 投稿手続き

- 1) 原稿と投稿別紙，チェックリスト，投稿承諾書（様式1）を電子メールに添付し，下記メールアドレスへ送信する。
ファイルサイズが大きいため，電子メールによる送付が難しい場合は紀要委員会へ照会のこと。
- 2) 原稿のファイル名は「著者名_原稿」とする。

- 3) 原著, 研究報告, 総説へ投稿する場合は, 抄録, 本文, 謝辞, 注, 引用文献などに著者を特定できる記述が含まれていないことを確認すること。必要に応じて, 紀要委員会から原稿の再提出を求めることがある。
 - 4) 投稿別紙のファイル名は「著者名_別紙」とする。
 - 5) 投稿時提出物のファイル形式
 - ① 原稿 PDF
※査読が必要な原稿は文書プロパティや原稿記載内容で著者情報を明らかにしないこと
 - ② 投稿別紙 MS Word (.doc .docx)
 - ③ 投稿承諾書(様式1) PDF
 - 6) 原稿受理の連絡後, 速やかに入稿用原稿を提出する。入稿用原稿のファイル形式は, Microsoft 社の Word, Excel, PowerPoint とする。
 - 7) 原稿提出先・問合せ先
紀要委員会 E-mail : kiyoukiyou@slcn.ac.jp または kiyoukiyou@luke.ac.jp
4. 原稿の受付および採否
- 1) 受付日は, 原稿の到着日とする。
 - 2) 紀要委員会は執筆者に論文種類の変更, 加筆修正を求めることができる。
 - 3) 投稿要項に沿っていない原稿は受理しない。なお, 投稿原稿の採否および掲載順序は紀要委員会で決定する。
5. その他
- 1) 著者校正は原則として一校までとする。校正時の大幅な追加, 修正は原則として認めない。
 - 2) 著者名に資格, 学位, 職位は記載しない。
 - 3) 全著者が原稿内容を理解し, 承認したうえで投稿すること。投稿においては「投稿承諾書(様式1)」に著者全員が署名をして提出し, 最終稿の提出時には「最終稿提出承諾書(様式2)」に筆頭著者が署名をして提出すること。

2015年6月2日改正

2016年7月5日改正

2017年6月6日改正

2018年7月20日改正